

IV Guidance on Study Abroad

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 松田, 紀子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028607

IV 海外学生派遣

熊井 浩子／松田 紀子 他

令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国際連携推進機構が実施しているプログラムについては、3月19日に派遣先が感染症危険レベル2以上の場合には特別な事情がない限り留学を延期または中断・中止するという要請が出された。また、ゴールデンウィーク明けには12月までのプログラムが中止となり、ついで8月の時点で令和3年3月までの派遣が中止となった。令和2年度後期においても8月4日の時点で令和2年度3月までの機構プログラムの派遣中止が決定された。

一方で、海外派遣に代わる措置として複数のオンライン英語研修を実施するとともに、これを全学教育科目の単位として認定できる仕組みを整備したほか、TOEIC学習支援も実施するなど、学内外のリソースを活用した学修機会の提供を積極的に推進した。

また、全学教育科目英語科目部とは情報共有や広報協力に加え、オンライン研修の単位化においても緊密な連携を図るなど、いっそうの協力体制が整った。

令和2年度後期の主なプログラム及び活動状況は以下の通りである。

1. 大学間協定に基づく交換留学

大学間協定に基づく交換留学の令和2年度後期派遣予定者は以下の9か国、11大学の20名であったが、前述の通り、派遣は中止となった。

- アメリカ ネブラスカ大学オマハ校 2名（工学部・総合科学技術研究科工学専攻各1名）
- マレーシア マラヤ大学 1名（工学部1名）
- ドイツ ヴッパタル大学 2名（人文社会科学部1名・総合科学技術研究科工学専攻1名）
- ドイツ ブラウンシュバイク工科大学 2名（情報学部・工学部各1名）
- スロバキア コメニウス大学 4名（人文社会科学部3名・教育学部1名）
- チェコ マサリク大学 2名（人文社会科学部・教育学部各1名）
- ラトビア リガ工科大学 1名（工学部）
- ブルガリア ソフィア大学 3名（人文社会科学部2名・理学部1名）
- ルーマニア アレクサンドル・イワン・クザ大学 1名（人社会科学部）
- フィリピン マリアノマルコス大学 1名（教育部）
- 韓国 釜山大学校 1名（人文社会科学部）

2. ILUNO (Intensive Language Program at the University of Nebraska at Omaha : ネブラスカ大学オマハ校集中語学プログラム)

令和2年度後期のアメリカ・ネブラスカ大学オマハ校における集中語学プログラムであ

るILUNO派遣予定者は5名（人文社会科学部1名、教育学部2名、情報学部1名、理学部1名）であったが、こちらも派遣中止となり、2名がオンラインでの受講となった。

3. 令和2年度春季短期留学

国際連携推進機構では、短期語学留学プログラムの選択肢を広げ（渡航先、設定期間）、既存の短期留学プログラムと運営面、内容面で異なる形式のプログラムを提供することを意図して、平成25年度より春休みにイギリス・中国での短期留学を、次いで27年度よりフランスの夏季・春季短期留学プログラムを開始した。各プログラムの実施状況は以下のとおりである。

① イギリス短期語学研修

例年2月末から3月末にかけてイギリスの大学、または英語教育機関での4週間のプログラムを実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて令和2年度の同研修は中止となった。

② フランス夏季・春季短期留学プログラム

A) 概要

本プログラムは、フランスの公式機関であるフランス政府留学局Campus Franceパリ本局により平成27年度から日本の大学の夏季及び春季休暇に合わせて提供されているものである。本学は開始時から短期プログラムと位置づけ、平成30年度より研修修了後フランス語科目（全学教育科目）2単位の認定可能とした。また、夏季プログラムは、令和元年に8月及び9月の2プログラム開催に増加された。

当該期間は、新型コロナウイルス感染拡大のため、Campus Franceパリ本局による開催通知がなく、また本学からも派遣を控える状況にあったため実施されなかったが、これまでの派遣状況から、プログラムの概要は以下のとおりである。

期 間：春季は1月下旬からの4週間（前後に移動日）

研修機関：サン＝ティエンヌ大学附属 ティエンヌ大学附属 語学・文明国際センター（Le CILEC de Sainte-Etienne）、またはグルノーブル大学附属フランス語教育センター（Le CUEF de Grenoble）。

費 用：約50万円

プログラム費用（受け入れ先語学学校の登録料・授業料、フランス滞在中の健康保険料、宿泊費、文化アクティビティ参加費、グループ単位での空港送迎費）として、2100ユーロ（大学寮個室）あるいはホームステイ（朝・夕食込み）2500ユーロ。これに、参加学生が各自で手配する日本国内移動及び日本・フランス往復旅費が加わる。

プログラム内容：

①フランス語短期集中講座：受講生は、個別面接を含むクラス分けテストを受け、個別カルテが作成されるとともに、それぞれのレベルに合ったクラスに配置される。月曜から金曜まで、受講時間数は週25時間、4週間での総受講時間数は100時間。フランスの

文化や文明をも学べるよう、授業では、広告、メディアの記事、ビデオ、文学作品など、実際の資料を用い、多様な言語活用シーンを想定して、コミュニケーションを重視したアプローチをとっている。到達レベルを記した証明書を、プログラム終了時に発行。

②文化・スポーツアクティビティ：一日または半日のさまざまなアクティビティや社会見学などを企画。

B) 期待される成果と課題

本プログラムは、研修機関として質の高い機関への短期学生派遣を、学内の運営コストを抑えて実施できるプログラム（申し込み手続きは大学がCampus Franceとの間で行うが、現地空港到着・出発時のグループ単位での「送迎」サービスが含まれているため大学教職員等の引率は不要）として、継続して提供しつつ、さらに参加人数が増えるよう周知などでの工夫になお余地があると考えられる。

③ 中国

静岡大学の中国春季短期留学は当初、北京華文学院が派遣先であったが、当校の静岡大学生のための留学プログラムの最少催行人数は5名であり、応募者不足で実施不可能な年があった。しかし、5名には至らずとも中国短期留学を希望する学生は毎年1～2名はいるため、平成30年度より静岡県文化・観光部大学課学術班主催の浙江万里学院中国語研修（県内各大学1名から参加可）に派遣し、静岡大学として初修外国語（中国語）の単位を認定する仕組みになっている。

しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中国春季短期留学は北京華文学院、浙江万里学院中国語研修ともに行われず、派遣も実施されなかった。

4. IVSP (International Visiting Students Program、旧VSCP)

カナダ・アルバータ大学で行われている語学研修と専門科目の単位取得を組み合わせたプログラムであるIVSPの令和2年度後期派遣希望者は2名（派遣期間：12か月1名、8か月1名）であったが、派遣が中止となったため、2名とも留学を取りやめた。

5. トビタテ留学JAPAN

静岡大学ではこのプログラムに採択されて令和2年度後期に留学を予定していた学生は1名であったが、こちらも新型コロナウイルスの影響により、中止となった。

期	コース	滞 在 先	期間(か月)	所 属 学 部
2	新興国	中国	10	人文社会科学部
2	多様性	ニュージーランド	12	教育学部
4	多様性	フィリピン・タンザニア・オランダ	7	教育学部
4	多様性	ドイツ	12	人文社会科学部
4	多様性	アメリカ	6	人文社会科学部
5	理系	ドイツ	12	工学部
5	新興国	グアテマラ・パラグアイ・アルゼンチン	12	人文社会科学部
7	世界トップ	フィンランド	23	自然科学系教育部
10	理系	オーストラリア	9	総合科学技術研究科
10	新興国	マレーシア	10	人文社会科学部
10	多様性	チェコ、ドイツ	11	人文社会科学部
11	理系	ラトヴィア	10	総合科学技術研究科
11	理系	アメリカ合衆国	11	自然科学系教育部
12	理系	オランダ	10	農学部
7	地域人材	ドイツ	2	人文社会科学部
9	地域人材	カナダ	8	総合科学技術研究科工学専攻
9	地域人材	アメリカ	6	総合科学技術研究科情報学専攻
9	地域人材	ニュージーランド	12	地域創造学環
10	地域人材	チェコ	5	教育学部
11	地域人材	フィリピン・マレーシア	12	工学部
12	理系	オランダ	10	農学部

6. オンライン海外英語研修プログラム

海外派遣自体は中止となっても学生に海外との接点やグローバルな学びの機会を提供し、派遣再開に備えてしっかりと準備を続けてほしいという強い思いから、国際連携推進機構では令和2年度の2月下旬から3月にかけて協定校であるカナダ・アルバータ大学等以下の4つの機関での6つの海外英語研修プログラムを提供するとともに、これを全学教育科目の「英語インテンシブA」、「英語インテンシブB」、「英語インテンシブC」、「英語インテンシブD」のうちの未修得1科目2単位として認定できるよう、規則を整備した。その結果プログラム参加学生3名が単位認定を受けた。

なお、令和2年11月から3月まで学内でのオンラインリーダーシップ研修、チームでのプロジェクト企画・立案、イベント実施を主に英語で行うスチューデント・アンバサダープログラムについても、令和3年度からは同様の単位認定が可能となっている。

● オンライン英語海外研修

- ①-1 カナダ・アルバータ大学 春季オンライン短期プログラム
CSGCO (Communication Skills for Global Citizenship) プログラム
- ①-2 カナダ・アルバータ大学 春季オンライン短期プログラム
ESTO (English for Science and Technology Online) プログラム
- ②-1 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs 研修
スタンダードコース (グループ・マンツーマン)
- ②-2 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs 研修
グローバルリーダーコース (グループ・マンツーマン)
- ③ オーストラリア・ウーロンゴン大学 英語学習+プロジェクトワーク研修
Project Unite – Connect, Collaborate & Contribute
- ④ オーストラリア・アデレード大学 英語学習+プロジェクトワーク研修
Global Jinzai Program

● その他の認定プログラム

静岡大学国際連携推進機構オンライン研修「静岡大学スチューデント・アンバサダープログラム」

7. 海外留学フェア

令和2年度前期は10月に予定されていたが実施できず、機構HP及びYouTube上に留学の勧めやプログラム紹介を載せることでその代替とした。対面では機構のイベントを主に実施している木曜日の午後に参加することが難しい学生も多くいることから、今後も引き続きWebによる情報提供も並行して行うことを検討している。

8. 英語学習支援

静岡大学では「地域と連携したグローバル戦略（産業界等と連携したグローバル人材育成のシステムの開発と人材育成）」を掲げており、機構においても英語科目部と連携して学

生の英語学習を支援し、交流活動、留学などにつなげることを目指している。令和2年度後期はこれまで実施してきたTOEFL ITP実施に加え、TOEIC学習・受験支援を実施した。

● TOEFL 説明会及びTOEFL 勉強会・TOEFL ITP（団体受験）

海外派遣の推進を目的として、TOEFLの試験情報の提供及び学内でITPテストの受験機会を設けている。令和2年度は、3回のITP（TOEFL団体受験）試験を実施した。

令和2年度 ITP TOEFL 学内試験（日付の後の数字は受験者数）

2020/7/16（15名）、2020/9/24（20名）、2020/11/5（7名）

● TOEIC 学習・受験支援

令和2年度には2月から3月にかけて、TOEIC600点に届きそうな層の希望者を対象に、オンラインによるTOEIC対策集中講座およびTOEIC受験料補助を行い、37名が参加した。

2月12日(金)・15日(月)～18日(木)：オンラインTOEIC対策集中講座実施（全5回）

2月19日(金)～3月20日(土)：TOEIC Program IP test（オンライン）受験

募集から2～3日で定員を超えたことから学生のニーズの高さがうかがわれ、令和3年度にも引き続き実施する予定である。